三菱代表者歸る

岩崎男にも會見せず 幹部會の召還に依りて

神戸三菱造船所の代表者は、廿一日も午前十時頃から岩崎男に面會を求めてゐる……

阪神の勞働爭議

遂に根氣くらべ

二萬職工が衞兵隊を組織し 三菱無期休業を宣す

罷業中の三菱職工幹部は廿一日……互助倶樂部に會合し廿二日から開業する事になつて居る會社側に對し就業するや否やに就き色々協議した結果投票に問ふ事となつて大部分は廿二日は……

三菱職工罷業繼續

幹部員の投票で決定

糾商隊を各地へ出す

神戸三菱職工最高幹部は二十日夜第一互助倶樂部に會合し廿二日から開業する事になつてゐる會社側に對し就業するや否やにつき種々協議した結果投票に問ふ事となつて大部分は罷業を繼續する事に決し廿一日午前職工一同は會下山に集り前夜の決議を報告し罷業を繼續すると同時に會社に對して提出した要求については持久戰に入る事となつたので運動資金を得る必要上職工の行商隊は今後組織的に擴張し神戸市内は勿論明石須磨大阪方面に數十組を派遣する事にしたが一方三菱側では職工側の態度を尚不穩と認め左の宣言を發表した

工場内の秩序未だ回復せざる爲當分の間更に休業す但廿二日以後の休業中は給料を支給せず尤も現行の會社の規則を遵守し眞面目に就業を希望する者は書面を以て申出づべし

警告つきの給料袋

奇麗に支拂はれた三菱給料日 尚怠業すれば支給せぬ

二十日は三菱の給料支拂日であるので職工一同は例に依つて午前六時より會下山に集合し……けふか否かは世の注目を惹いて居たものだが今回に限り上半月分を全部支拂ふ事と決し午前九時から一時間に亙り普通通りの給料即ち七月上半月分と出勤賞與とを支拂つたが然し給料袋の中には左の警告が入れてあつた

怠業又は罷業中は賃銀の支拂は勿論出勤等の給與をもなすべき筋合にあらざるも今回に限り家族の生計を顧慮して今月五日より十一日迄の間(怠業中)をも特に……又は罷業をなしたる場合は一切給與せず

尚此の給料支取日を利用し職工組合……敗して居つた三菱内燃機職工神戸市五番町杉野某(二十三年)は兵庫署員に發見され直に檢束された又三菱電氣株式會社記錄掛松本某は十八日兩案謠にて試みた演說が不穩なりとて同じく同署に檢束された

には如何なる態度を以て會社に臨むべきかを決定する筈であるが一方三菱に於ては二十二日には久しく締切つて居つた門を開き職工を平常通り入場せしめ職工がおとなしく仕事をすればよしもしさもない時は再び休業を宣告する事に大體方針を決定した模樣である

三菱上京委員

歸神して交渉報告

三菱上京委員の一行中紋井、井上兩氏は二十日正午過神戸驛着列車で歸神した紋井委員は語る

東京では武田課長に會見後岩崎男にも是非會見せんと詰め迫つたが男は言を左右にして逃げ廻つて居つたので會見は出來なかつた武田課長との會見顚末は新聞紙所報の通りで工場委任制度を始めとし常に研究中の一點張りで要領を得……

川崎の役付職工

三百人の意氣

川崎造船所役付職工は現在三百人あるが……

即ち……首するの意氣を示したものであつて又以て職工團の意氣込みを知るに足る

同造船所職工は二十一日午前、午後の二回日本劇場に於て演說會を開き又同造機部職工も兵庫明治座に演說會を開き氣勢を揚げた

二代議士調査

勞政會

鈴木文治代議士は二十一日朝來神、野田代議士邸で大阪の鈴木代議士と打合せ三人にて神戸市の勞働爭議に對し種々打合をなし午後勞政會を代表して有吉知事、川崎、三菱兩造船所其他職工側代表者等と會見調査する所があつた

逢へぬ恨みを殘して

中止挙の職工代表は今日 一まづ東京引上げ

神戸三菱造船職工の代表委員は廿一日も朝九時から岩崎男邸を訪れ……

繰返す

工場長伍長等も

意見要求書を提出

危まれる川崎の休業明け

川崎造船所は本日阪神地方の各新聞に爭議の顚末を公告したが職工側は之に對し約二萬枚の意見書を配布した……

……中の川崎……(大阪電話)

川崎造船所長

工場長

及伍長等三百四十名……

……俱樂部……

怒り力應援

を刎ね 付職工連起つ

引揚げ

罷業

三菱

解決

懇願

決心

不戰